



仔犬

大型犬の仔犬：急速な成長は最適な成長ではない

大型犬や超大型犬の成長速度は、小型犬よりも速いものです。急速に成長すると、骨密度が低下し、発達中の骨や関節にストレスがかかり、その結果不可逆的な骨格形成異常が生じるため、成長の速度をコントロールすることが重要です。



キーメッセージ

- 大型犬や超大型犬の仔犬への給餌量が多すぎると、望ましくない骨の急速な発達を招きます。過剰なカロリーにより体重が過剰に増え、未成熟な発達中の骨格にさらなるストレスを加えることになりかねません。
- 成長期用の食餌（仔犬のフード）は、仔犬の成長が止まるまで与え続ける必要があります。大型犬や超大型犬の場合、それまで最長 18~24 ヶ月かかります。大型犬や超大型犬向けに特別に調製された成長期用の食餌はエネルギー密度が低いため、給餌量が過剰になる可能性を低下させる効果があります。
- 仔犬への給餌でやせ型体型の健康体重を維持するように心がけることは、寿命を延ばし、慢性疾患（股関節形成不全や変形性関節症など）の徴候が現れるのを遅らせる効果があります。

ご存じでしたか？

成犬のサイズは遺伝によって決まります。そのため、成長速度をより遅く、より制御しても、最終的な成犬のサイズには影響がありません。

その他のリソース

Larsen, J. (2010). Feeding large-breed puppies. *Compendium: Continuing Education for Veterinarians*, 32(5), E1-E4.

Kealy, R. D., Lawler, D. F., Ballam, J. M., Mantz, S. L., Biery, D. N., Greeley, E. H., Lust, G., Segre, M., Smith, G. K., & Stowe, H. D. (2002). Effects of diet restriction on life span and age-related changes in dogs. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 220(9), 1315-1320. doi:10.2460/javma.2002.220.1315

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。